



海岸防災工学

Coastal Disaster
Research Laboratory

防災研究所/DPRI
沿岸災害研究分野

研究室紹介

<http://www.coast.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

Member: Y2020/2

写真是一部本人と違います

教授
森 信人
Nobuhito Mori



D2 (国費留学)
Audrius
Sabūnas



M2
浦野大介



准教授

募集中

D2 (国費留学)
Zuorui Lyu



M1
高木雅史



宮下卓也
助教
Takuya Miyashita



D2 (社会人)
藤木 峻
(港湾空港技術研究所)



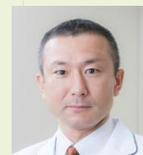
M1
小池宏之進



特任助教
Adrean Webb



D2 (社会人)
安藤 圭
(神戸製鋼)



M1
森 壮太郎



特任助教
Che Wei Chang



D1
福井信気



B4
宮内海峰



JSPS外国人PD
TungCheng Ho



秘書
神崎景子
吉村美希



すぐには役に立たないが10年後に社会貢献
Looking 10 years future

Main Target

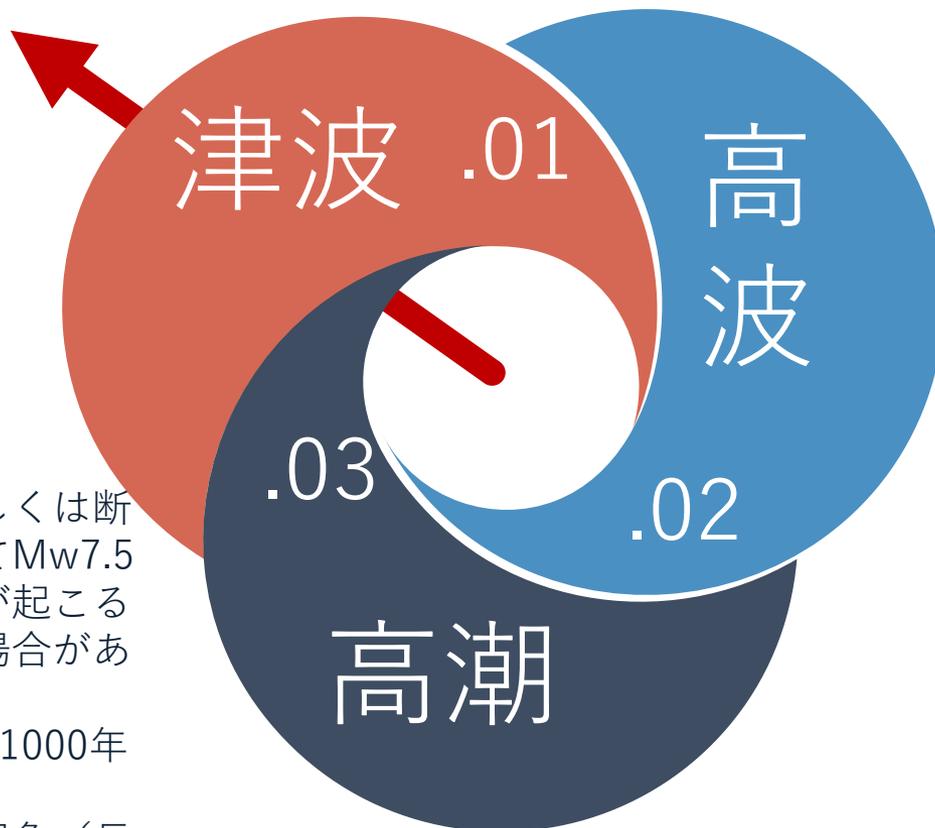
沿岸災害ハザードの長期評価 Long-Term Assessment of Coastal Hazards

Laboratory motto

- トップレベルの研究 Keep top level research
- 研究と人生を楽しもう Enjoy research and life
- 周りの人に敬意を Respect your colleagues ▶

極端な沿岸災害から国土を守る

どこで?
強さは?
頻度は?



.01

海溝軸, もしくは断層上においてMw7.5以上の地震が起こると発生する可能性がある
頻度: 100~1000年に一度
現象: 波動現象 (長波)

.02

海面を吹く風により発生
頻度: 数年~数十年に一度
現象: 波動現象 (短波) + 大気との相互作用

.03

海面を吹く風と気圧低下により発生
頻度: 数十年に一度
現象: 波動 (長波) + 流れ

研究の全体像

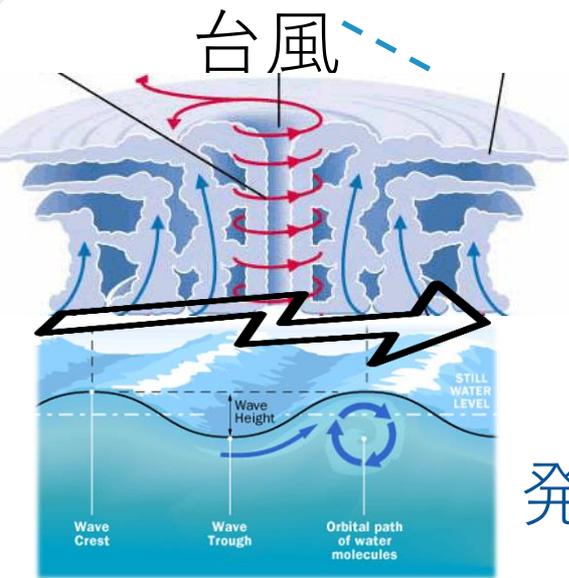


浸水・被害
過程

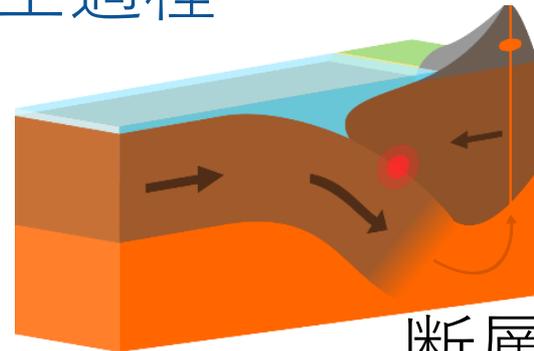
津波・高潮・高波

発達・伝播過程

発生過程



運動量・熱輸送
吹送流・海洋混合



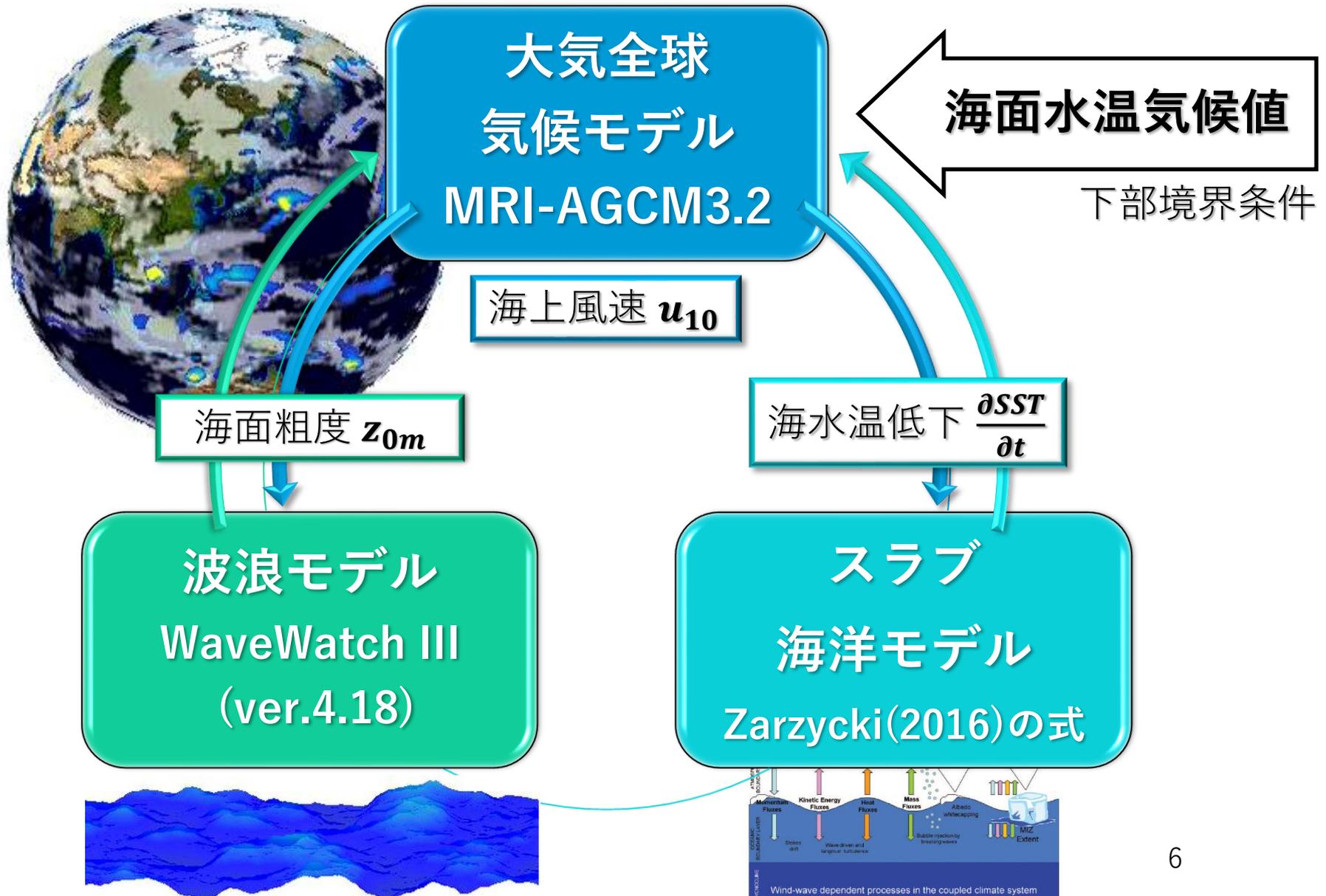
断層破壊過程
スケーリング則

断層



卒論の例：大気・海洋・波浪結合気候モデルの開発

気象研究所との共同研究



地球温暖化 影響評価・適応策

・IPCC

- ・ 第5次評価
報告書(2012年)
 - ・ 5編引用
- ・ 第海洋雪氷圏特別
報告書(2019年)
 - ・ 1編引用
- ・ 第6次評価
報告書(2021年予定)
 - ・ 5編引用 (予定)



・2018年温暖化統合レポート

- ・ 2018年2月発刊
- ・ 図面入りで多数引用

・2020年温暖化予測レポート

- ・ 代表執筆者

・High Impact 論文

- ・ Nature CCに論文掲載

気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート2018

～日本の気候変動とその影響～

環境省 文部科学省 農林水産省 国土交通省 気象庁



研究室の特徴：研究 Research Target

- キロ～メソスケール（1-1000km程度）の沿岸災害の科学と工学的応用を扱います。
km to meso scale coastal problem
- 科学と工学をつなぐ自然現象の理解とその応用に力を入れています。
Bridge between science and engineering
- 10年後に役に立つ世界を代表する研究を目指しています。
Top level research targeting 10yrs future



特徴：その他 Research Environment

情報

- 研究室内
 - ・ 研究員の多さ
 - ・ 外部からのセミナー
 - ・ 毎週のミーティング
- 研究室外
 - ・ 年間数名の海外研究者が中・長期に滞在

環境

- 防災研トップクラスの環境
 - スパコン
 - 共用クラスター
 - ・ 128core+3000TB
(共用：中北研他)
 - 研究室クラスター
 - ・ 416 core+740TB
 - 日常
 - ・ 一人ひとりに潤沢なスペース



Lab Location: E-201D~E-210D



Steps

Here 2F

Shuttle Bus

JR/Keihan Station



www.coast.dpri.kyoto-u.ac.jp
lab@oceanwave.jp

海の研究をしたい人 E-206D(学生部屋)を覗いて下さい

海なし県出身者も歓迎

その他セールスポイント

海に行くことができる
できるだけ良い研究環境を提供
黄檗駅に最も近い
連絡バス乗り場正面
コンビニに近い